

A winter scene with snow on the ground and buildings in the background. The sky is overcast and grey. In the foreground, there are two bare trees on either side of a snow-covered area. In the background, there are several multi-story buildings, likely school buildings, partially obscured by the misty atmosphere.

令和4年度
川崎市立西菅小学校
学校報告会

令和5年3月3日（金）

令和4年度西菅小学校 学校報告会 次第

- 1 はじめのことば
- 2 今年度の教育活動について
- 3 今年度をふり返って
(子どもたちが語ります)
- 4 令和5年度年間行事予定について
- 5 質疑応答
- 6 おわりのことば

1. はじめのことば

2. 今年度の教育活動について

学校教育目標

かしこく 心豊かで たくましく 自分
で考えて行動する子 **共に生きる子**



人権尊重、共生・協働を基本とする。人権意識を高め、いじめ、暴言・暴力は、決して許されないという姿勢をもつ

相手の存在を認めた上でお互い切磋琢磨していく姿

学校教育目標

かしこく 心豊かで たくましく 自分
 で考えて行動する子 共に生きる子

☆自他のよさを互いに認め、相手の気持ちや立場を尊重して活動する子
 ☆自分の在り方を率直に表現し、自己実現に向かう子

かしこく(知)

☆自ら学ぶ子、共に学ぶ子
 ☆獲得した知識や技能を基に考え判断し、進んで実行して、よりよく生きる子

心豊かで(心)

たくましく(体)

☆自他の命、互いの心や身体を大切にし、活動する子
 ☆体を動かす喜びを感じ、最後までやりぬく子
 ☆目標に向かって実行し、継続する子

ベスト
(B)

ワースト
(W)

わからない
(?)

P6

1 「かしこく（知）」進んで学び、認め合い、高め合う

- ①「わかる」「楽しい」授業を創る。
- ②自分の思いや願いを伝え、自分で考える力が身につく指導の工夫
- ③進んで学習や課題に取り組む指導
- ④国語科を中核に、言語能力をはぐくみ、学び合える授業を通して、保護者や地域とつながる。
- ⑤かわさきGIGAスクール構想を実現し、未来社会の切り手を拓く。

児童
B1位

児童
W1位

保護者
W2位

保護者
?3位

教職員
W1位

保護者
?1位

教職員
B1位

1 「かしこく（知）」進んで学び、認め合い、高め合う

「わかる」「楽しい」授業については、子どもたちの評価が高く、学校としてはとても嬉しく感じている。しかし、進んで学習や課題に取り組むことについては、児童、保護者とも他の項目と比較して、あまり高くなく、本校の課題である。これまで、国語科の「話す」「聞く」を中心に校内研究を行い、相手に伝える力は着実についてきているが、教職員は、もっと表現力がついてほしいと考えている。また、保護者に対しても成果について、もっと発信していかなければならない。

また、かわさきGIGAスクール構想の取組については、教職員は一定の達成感を感じているが、保護者になかなか伝わっていないので、この点での発信の大切さも認識している。

ベスト
(B)

ワースト
(W)

わからない
(?)

P8

2 「心豊かで（心）」あいさつを通して、打ち解け合う

⑥進んで挨拶やお礼を伝え、コミュニケーションの輪を広げる。

教職員
B1位

教職員
B1位

教職員
B1位

⑦思いやりや感謝する心を育む。

⑧友達と協力して活動したり働いたりできる。

⑨目標に向かって最後まで粘り強くやり通す。

⑩読書活動を充実させて、自らを高める本と出会い、活用する。

教職員
W3位

保護者
W3位

児童
W1位

保護者
W1位

2 「心豊かで（心）」あいさつを通して、打ち解け合う

「挨拶」「感謝」「思いやり」「協力」については、児童も教職員も意識をもって行っているので満足度は高い。「挨拶」など児童会等が自主的に行っていて、一定の成果が見られるが、受け身になってしまいう児童も見られ、その意義を継続的に伝える必要がある。

目標に向かって最後まで粘り強くやり通すことや読書活動については、教職員や保護者、児童も課題と感じている。今日的な教育観を再度見つめ直し、家庭との連携をより図り、集中して取り組むことの大切さを考えていく必要がある。

ベスト
(B)

ワースト
(W)

わからない
(?)

P10

3 「たくましく（体）」日常的に運動に親しみ、継続する

①新しい生活様式を習慣にして、自分と大切な人の命を守る。

児童
B1位

教職員
W2位

②体を動かすよさに気づき、運動を楽しみ進んで体力づくりを行う。

児童
W3位

③学校の決まりや交通ルールを守って安全に生活する。

保護者
B2位

④自己免疫力を高める睡眠・栄養・運動を通して、健康的な生活習慣を身に付ける。

3 「たくましく（体）」日常的に運動に親しみ、継続する

全体的に手ごたえを感じている施策である。**新しい生活様式**については、児童と教職員の捉え方にギャップは見られるものの習慣化されている児童が多く、混乱はなかった。

体を動かすことは、児童によって取り組み方が両極端となっており、今後ますます自己免疫力を高めていく必要感が高まることを考えると体力づくりへの啓発が必要となる。

学校の決まりや交通ルールについては、おおむね保護者の評価は高いものの放課後の遊び方などについては課題が見られる。

☆「支援教育」の充実

- 児童支援コーディネーターから支援教育コーディネーターへ
- SOS出し方・受け止め方教育
- 巡回カウンセラーの配置

教育相談について、管理職、コーディネーター、巡回カウンセラー等、広く相談を受ける体制づくりが整い、同じ方向を向いて養育できるように努力してきた。今後もよりベターな方法を模索していきたい。

SOS出し方・受け止め方教育を授業参観で実施した。その効果について、継続的に見ていく必要がある。

☆「開かれた学校」を目指して

- 学校説明会、学校公開、授業参観、学習発表会、学校・学年・保健・給食便り・HP等で、子どもの姿や学びの様子を発信し、共有する。
- 児童・保護者・教職員で行う学校評価の結果と考察を生かして学校を運営する。

授業参観、学習発表会での参観人数を緩和し、平時に戻す足がかりができた。また、学年だよりを学校だよりに一本化することで、全部の学年の学習が見通せるようになり、好評を得ている。また、HP、配信メールで、児童の姿や学びの様子、学校の考え方等を発信し、こちらも高い評価をいただいている。また、今年度学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を立ち上げ、学校評価にも参画していただいている。学校評価アンケートもWEB化を図った。

来年度の方向性

- 子どもが夢中になって取り組み、自ら表現していく学習⇒子どもたちが主体的に行う学習
- 読書とGIGAなどのハイブリッドな方法で創造力の育成⇒読書に親しむ活動を増やす
- 思いやり、感謝、協力⇒いじめ撲滅
- 体力向上、安全、健康⇒マスクの着脱の方針を受けての本校の在り方を模索
- 児童の自主的な活動⇒朝会を月1回に
- 支援教育の充実⇒教育相談日の拡充、学年に応じた交換授業の実施

保護者の皆様の声から①

温かい言葉
に元気をもら
いました!

P15

- 荷物の軽減化について（GIGA端末の持ち帰りも含めて）⇒GIGA端末の活用は今後も増える。より学習に生かせる方向で。荷物は軽減化を図る（なるべく背負えるように…原則ランドセル使用だが、状況によっては、リュック等の使用も可）
- 宿題や自学の取組について⇒学級の方針によって違いがあるのを認めていく。どんな教育方針があるのか、来年度説明していく。
- 子どもに寄り添う対応を⇒よりスキルが高まるよう、職員研修等を行い、研鑽します。

保護者の皆様の声から②

○体育着等の忘れによる見学の是非⇒体育着忘れは見学。赤白帽子忘れは、学校で貸出していく方向（忘れ物を容認しているわけではない）。いらなくなった赤白帽子を寄付してください。

○かっぽう着の個人持ちについて⇒保護者からの申し出により、エプロン・三角巾でも可

○学校だよりの配付時期を早く⇒ギリギリまで調整している関係上、来年度も前月末日に配付予定

保護者の皆様の声から③

P17

○運動会等、5、6年生が負担増⇒来年度係
分担を4年生に拡大

○通学路（青コース）が遠回り⇒安全上の配
慮です。ご理解ください。

○ホームページ、配信メールがありがたい
⇒ありがとうございます。「配信メールの文章が
長い」との声も一部届いていますが、学校の考え
方や思いを乗せていることもありますので、ご容
赦ください。

◎学校運営協議会の皆様から①

○授業参観では、子どもたちがとても落ち着いていた。GIGA端末をスムーズに使っていた。校内研究の内容がよく分からないとアンケートで答えていたが、教室の掲示物の子どもの作品をみたら、文章表現に日々の成果が表れているのを感じた。

○学校だよりがタイムリーである。学校だよりの中に全学年の予定や連絡が掲載されているので、学校全体の動きが見れてとても良い。

○たくさんやらなければいけないことがあったり、いい子でないといけないと思ったり、子どもたちが大変じゃないかと感じた。学校でしっかりやっている分、下校後、解放されている姿があってもおかしくはないと思った。学校が来て楽しいところとなってくればよいと思う。

◎学校運営協議会の皆様から②

○もう少し、じっくり授業参観をしたかった。先生方の発問に対して子どもたちがどのように思考していくのかを見てみたい。

○自分の成人した子どもを見ていて思ったが、異学年やいろいろな人とのコミュニケーションをとりながら成長していくことは大切だと思う。

○校長先生のお考えが教職員に伝わり、子どもたちへの教育につながっていると感じた。少人数の学校なので、どこまで支援していくか悩むところである。大きな失敗をさせたくないが、小さな失敗を経験して自主的な部分を育てていただけるとありがたい。

3. 今年度を振り返って (子どもたちが語ります)

4. 令和5年度年間行事予定について

別紙を参照してください

5. 質疑応答

6. おわりのことば

ご参加いただきありがとうございました。
この後は懇談会会場
に、ご移動お願いいたします。